

## 学校施設の耐震化状況

	学校名	棟・用途	建築年	構造・階数	面積 (㎡)	耐震2次診断結果	改修年度	改修後の耐震性能	備考
						IS値		IS値	
1	阿久津小	管理・教室棟	H26	RC 2	6,185	—	—	—	昭和57年以降の建物
		体育館	S54	S 2	1,355	0.34	H21	0.71	
2	中央小	校舎棟	S52	RC 3	1,748	0.38	H18	0.75	
		管理棟	S52	RC 3	1,819	0.39	H18	0.71	
		体育館	S53	S 2	807	0.33	H21	0.71	
3	東小	管理・教室棟	H30	RC 2	2,290	—	—	—	昭和57年以降の建物
4	上高根沢小	校舎棟	S57	RC 3	2,745	—	—	—	昭和57年以降の建物
		体育館	S52	S 2	806	0.36	H21	0.83	
5	北小	管理・特別教室棟	H19	W 2	2,255	—	—	—	昭和57年以降の建物
		特別教室棟	S55	RC 3	1,232	0.50	H19	0.724	
		体育館	S55	S 2	864	0.56	H22	0.80	
6	西小	校舎棟	H6	RC 3	5,969	—	—	—	昭和57年以降の建物
		体育館	H6	S 1	1,179	—	—	—	昭和57年以降の建物
7	阿久津中	特別教室棟	S46	S 1	277	0.21	H25	0.99	
		校舎棟	S59	RC 4	5,472	—	—	—	昭和57年以降の建物
		校舎棟	H16	S 2	823	—	—	—	昭和57年以降の建物
		旧体育館	S40	S 2	918	0.13	H21	0.77	
		新体育館	H2	S 2	1,314	—	—	—	昭和57年以降の建物
8	北高根沢中	教室棟	S55	RC 3	2,756	0.57	H19	0.70	
		管理・教室棟	S55	RC 3	1,380	0.47	H19	0.73	
		特別教室棟	S55	RC 2	745	0.75	—	—	2次診断の結果耐震改修不能
		特別教室棟	H4	RC 3	761	—	—	—	昭和57年以降の建物
		体育館	H1	S 1	1,289	—	—	—	昭和57年以降の建物

※1 構造 RC：鉄筋コンクリート造 S：鉄骨造 W：木造

※2 IS値 IS値とは、地震に対する建物の強度と粘り強さを示す値で、この値が大きいほど、耐震性能が高くなります。文部科学省では、学校施設の安全の目安を0.7以上としています。

IS値<0.3 大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い

0.3≦IS値<0.6 大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性がある

0.6≦IS値 大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性が低い

昭和57年以降に建設された建物は、新耐震基準で建築されており耐震性を有しています。